

皆さんは、子どもの頃に何をしていましたか。どのような趣味を持っていましたか。

総務省が5年ごとに実施している「社会生活基本調査」という統計調査で、山口県内の10～14歳の趣味・娯楽に迫ってみましょう。

図の棒グラフは、子どもたちが趣味・娯楽として行ったことがあると答えたもの（行動者率）を示しています。人気の高いものは、「テレビゲーム」「映画館での映画鑑賞」「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」、そして「遊園地、動植物園、水族館などの見物」で、男女両方からこの10年間高い支持を受けています。特に「テレビゲーム」の行動者率は70～80%と非常に高い割合です。

また、子どもが本を読まなくなったと言われますが、「読書」の項目に目を向けてみると、減少傾向にあるものの、多くの子どもが今でも読書をしていることが読み取れます。

「カラオケ」や「写真の撮影・プリント」は増加傾向にあります。特に「カラオケ」の行動者率は、この10年間で約1.4倍となっており、子どもたちの間で人気が高くなっています。

さらに、図には示していませんが、男女別では「楽器の演奏」「書道」「写真の撮影・プリント」は女の子に人気です。女の子の趣味は幅広いのに対して、男の子の趣味は上位の項目に集中しています。

さて、皆さんが熱中していた趣味は含まれていましたでしょうか。次回のこの調査は2021年に行われますが、どのような趣味に人気が集まるのでしょうか。

